

機能性表示食品について

機能性表示食品とは

機能性を表示することができる食品は、これまで国が個別に許可した特定保健用食品（トクホ）と国の規格基準に適合した栄養機能食品に限られていました。そこで、機能性を分かりやすく表示した商品の選択肢を増やし、食費者の皆さんがそうした食品の正しい情報を得て選択できるよう、今年の4月に新しく「機能性表示食品」制度が始まりました。

- ・「おなかの調子を整えます」「脂肪の吸収をおだやかにします」など、特定の保健の目的が期待できる（健康の維持及び増進に役立つ）という食品の機能性を表示することができる食品です。
- ・安全性の確保を前提とし、科学的根拠に基づいた機能性が、事業者の責任において表示されるものです。
- ・消費者の皆さんが誤認することなく商品を選択することができるよう、適正な表示などによる情報提供が行われます。



制度の特徴

- 1、疾病に罹患していない方（未成年、妊産婦及び授乳婦を除く）を対象にした食品です。
- 2、生鮮食品を含め、全ての食品が対象となっています。
- 3、安全性及び機能性の根拠に関する情報、健康被害の情報収集体制など必要な事項が、商品の販売前に、事業者より消費者庁長官に届けられます。
- 4、特定保健用食品とは異なり、国が安全性と機能性の審査を行っていません。
- 5、届け出られた情報は消費者庁のウェブサイトで公開されます。

機能性が表示されている食品



特定保健用食品(トクホ)

健康の維持増進に役立つことが科学的根拠に基づいて認められ、「コレステロールの吸収を抑える」などの表示が許可されている食品です。表示されている効果や安全性については国が審査を行い、食品ごとに消費者庁長官が許可しています。

栄養機能食品

一日に必要な栄養成分(ビタミン、ミネラルなど)が不足がちな場合、その補給・補完のために利用できる食品です。すでに科学的根拠が確認された栄養成分を一定の基準量含む食品であれば、特に届け出などをしなくても、国が定めた表現によって機能性を表示することができます。

機能性表示食品

事業者の責任において、科学的根拠に基づいた機能性を表示した食品です。販売前に安全性及び機能性の根拠に関する情報などが消費者庁長官へ届け出られたものです。ただし、特定保健用食品とは異なり、消費者庁長官の個別の許可を受けたものではありません。



栄養の情報を表示することによって販売者は販売拡大につなげたいと考えています。機能性表示食品に登録している食品も日に日に増えています。たくさんの情報の中から消費者が判断しなければなりません。なんとなく身体によさそうだから・・・と購入してしまいがちですが、マークや表示も参考にしてみてください。